

CityView!

「CityView!」では、市のイベントや地域的话题を、皆さんにお届けします。
掲載した写真は、データで提供します。希望の方は問い合わせください。>



米国主催訓練 「レゾリュート・フォース・ パシフィック」

関係各所で連絡・情報共有体制構築



宮城県へ要望書を提出

米国空軍が主催する大規模訓練「レゾリュート・フォース・パシフィック」が7月末に実施されることとなり、これに向けた庁内対策会議を行いました。市や市議会、東北防衛局、県警、消防、商工会、県などの関係者が集い、全飛行と騒音対策に万全を期すとともに、情報共有や連絡調整などを密にすることを申し合わせました。

(7月10日、市役所)



重要水防箇所を巡視

局地的大雨災害に備え

北上川下流河川事務所鳴瀬出張所と市、水防団などによる重要水防箇所合同巡視を1級河川の鳴瀬川堤防周辺で行いました。関係者約30人が出水期を前に河川整備の状況や堤防の低い部分を目視確認し、災害時の対応を情報共有しました。

(6月25日、鳴瀬川周辺)



県警本部が褒状

市は6月24日に交通死亡事故ゼロ2年間達成、これに合わせ同27日、宮城県警の杉本伸正県警本部長から褒状が伝達されました。市では令和5年6月23日の死亡事故発生以来、交通死亡事故は発生していません。市役所であった伝達式で、県警本部の仙洞田守交通部長から褒状を受け取った渥美市長は「暗いニュースのない元気なまちを目指し、交通死亡事故ゼロ1000日に向けて歩んでいきたい」と述べました。

交通死者ゼロ2年

市は、令和6年度に完成した市発注の各種工事の中から、特に優良な工事を施工した8社13件を選定し、優良工事表彰式を行いました。渥美市長は各社の代表に表彰状を手渡し、感謝を伝えながら「今後も無事故で工事を施工し、本市の発展にご協力をお願いします」と期待を込めていました。

(6月25日、市役所)

優良工事 8社13件を表彰

技術・管理面で模範



JAいしのまきが寄贈

食農教育補助教材
「農業とわたしたちの暮らし」



地域の子どもたちに食や農業に興味を持ってもらうため、JAいしのまきから小学5年生用の食農教育補助教材「農業とわたしたちの暮らし」を計404冊が、市に寄贈されました。松川孝行組合長は「地域の農業のあり方も含めて理解を深めてもらえるとうれしいです」と話していました。(6月5日、市役所)



子ども未来サミット

「でめこん」重要性を共有

家庭での生活時間が増える夏休みを前に、市内の小中学生がデジタルメディアの健全な使用方法を考える「子ども未来サミット」を開催しました。スマホやゲーム機などデジタルメディアの使用時間をコントロールして空き時間を学習や読書時間に充てる行動目標「でめこん」の取組事例などを子どもたちが発表・共有し、後半は保護者も交えたディスカッションで考えを深めました。また、東松島市青少年健全育成市民会議から心あったかイートころ運動に活用してほしいと支援品の贈呈がありました。

(6月21日、市コミュニティセンター)

子どもたちの 健やかな成長に つながって



(株)宮城電気サービス
市内3保育所に備品寄贈

総合電気設備業の(株)宮城電気サービスから、矢本東保育所と大曲保育所、大塩保育所に、それぞれLED外灯や日除けスクリーン、すのこが寄贈されました。寄附贈呈式で同社の齋藤裕司会長は「子どもたちの健やかな成長に少しでもつながれば幸いです」と話していました。

(6月25日、市役所)



宮戸地域 (6月7日)



小野地域 (6月8日)



赤井地域 (6月1日)



大塩地域 (6月16日)

花とともに 育てる郷土愛

東松島・植栽活動

市の各地域を花で彩り、環境美化と郷土愛醸成、住民同士の親睦を深める「花の香るまちづくり事業」で、マリーゴールドやサルビア、ニチニチソウなど4万3千株の植栽を行いました。植栽には、本市が地域自治組織に交付しているまちづくり事業補助金を活用しています。



大曲地域 (6月1日)



野蒜地域 (6月20日)



矢本西地域 (6月8日)



矢本東地域 (6月1日)



東根市が「佐藤錦」47kg寄贈

さくらんぼ生産量日本一を誇る山形県東根市から今年も、市内の幼稚園や保育所など計14施設に特産の「佐藤錦」計47kg(約780人分)が届けられました。贈呈式は矢本東保育所で開かれ、園児たちは甘酸っぱいさくらんぼの味に笑顔弾けさせました。

(6月18日、矢本東保育所)

甘いさくらんぼに
につこり笑顔



通学用ヘルメットと食品 地域から寄贈

日本ウェルネス宮城高校の学校生活を支援

日本ウェルネス宮城高校に今春入学した新1年生の自転車通学の安全確保に向け、6月3日、同校後援会(橋本孝一会長)からヘルメット50個が贈られました(写真左)。また7月8日には、同後援会と市内県漁協4支所、東松島ライオンズクラブからノリや鶏むね肉、豚ヒレ肉のほか食材購入費5万円が同校に贈られました(写真右)。

東松島市 小学生オリンピック競技会



記録更新と上位入賞目指し躍動

東松島市小学生オリンピック競技会には、市内の4年生以上の小学生約130人が参加し、50m走やボール投げ、リレーなど5種目に挑戦。スポ少や学校の垣根を越えて交流を図りながら、各競技で大会記録更新と上位入賞を目指しました。

(6月7日、鷹来の森運動公園)



第19回 東松島市ペタンク大会

ニュースポーツを通し参加者の交流と基礎体力作りを目的に今年度も開催しました。市内の各地域から21チーム78名が参加。ブロック予選と決勝リンク戦を行い、一球投げのたびに化変する状況に歓声も上がり、赤井地区の南区和幸会Aチームが優勝しました。

(6月14日、鷹来の森運動公園)



大山加奈さんら バレーボール元日本代表 鳴瀬桜華小で出前授業

東(樺)東北支店主催のバレーボール教室が鳴瀬桜華小学校の6年生対象に開かれ、元日本代表の大山加奈さんと米山裕太さんが優しく指導しました。教室は、今回で10回目の節目。この長年の支援に感謝し、渥美市長が東(樺)東北支店と大山さんらに感謝状を手渡しました。

(6月27日、鳴瀬桜華小講堂)